

事業者向け 放課後等デイサービス評価表 新座教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	各設問のコメント
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			活動を必要な広さの教室で支援を行っています。相談室を開放することで、十分なスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			利用者 10 名に対し 3 名以上の児童指導員を配置して支援を行っています。
業務改善	③	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			朝礼や終礼時にトレーニングの計画、振り返りを行い全職員間で相談を行っています。
	④	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			保護者アンケートの結果から、親子参加のイベントや保護者会の充実に努めています。
	⑤	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			実施したアンケートはハッピーテラスホームページで公開しています。
	⑥	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	現在実施しておりませんが、業務の質の向上に向け、実施できるよう努めています。
	⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			トレーニング研修を受講し、教室内勉強会にて共有の機会を設けています。外部研修への参加の機会を増やし、更なる知識・技術の向上を目指します。
	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			ハッピーテラス独自のアセスメントツールを使用し、保護者からの聞き取りにより客観的作成しています。
	⑨	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			ハッピーテラス独自のアセスメントツールを使用しています。
適切な支援の提供	⑩	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			定期的に会議を行い、活動プログラムを企画しています。
	⑪	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			週間テーマを設定した中で、毎日のトレーニングに変化をつけ実施しています。
	⑫	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			子どもたちの障害特性に合わせて、平日は集団プログラム、休日は創作活動や外出イベント等の地域交流の機会を設けています。

	⑬ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者のニーズの他、児童指導員等の評価により、個別トレーニングへの提案を行い、実施しています。
	⑭ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼を実施し、1日の流れの確認、役割の確認、前日の出来事の共有を行っています。
	⑮ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎時等、保護者へ子供の様子を共有している。終礼を行い、職員間の情報共有も行っています。
	⑯ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日、一日の支援日誌を作成するとともに、職員間でも振り返りを行っています。
	⑰ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			3ヵ月から6ヵ月に1度、保護者とモニタリングを行い、新たな計画書を作成しています。
	⑯ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			初期認定研修で内容を理解できるようになるとともに、トレーニング、各種イベントを行うことで複数の組み合わせを実施しています。
関係機関	⑯ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			児童発達支援管理責任者と常勤指導員で話し合い、参加が望ましい職員が参加できるようにしています。
関わる保護者	⑯ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者を通して連絡を行っています。今後、保護者の要望がある場合には必要に応じて直接情報共有を行っていきます。
との連携関係機関	⑯ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			契約時に確認し、必要に応じ適宜連絡が取れるよう体制を整えていきます。
や保護者との連携	⑯ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			訪問および電話で情報共有を行い、相互理解に努めています。
機関や保護者との連携	⑯ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現在、該当がございません。今後、卒業後にスムーズに移行できるよう情報共有を実施していきます。
との連携	⑯ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		今後、研修が実施された際には積極的に参加していく方針です。
との連携	⑯ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		現在は、積極的な実施をしておりませんが、共生社会の実現に向けた後

連携					方支援の位置づけである事を認識し、適切な連携と子どもたちの地域社会への参加の視点も踏まえ前向きに検討していく方針です。
	㉖ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			管理者だけでなく指導員も参加する様にし、社内共有に努めています。
	㉗ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者送迎時などに利用者の様子や、トレーニングも教室で直接見てもらったり、3カ月に一度保護者面談を行っています。
	㉘ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			面談を通じて、情報共有だけでなく助言をおこなっています。経験の少ない職員については、研修に参加することでペアレントトレーニングのスキルアップに努めています。
保護者への説明責任等	㉙ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用開始契約時に児童発達支援管理責任者が管理者が丁寧に説明を行い、教室に掲示を行うことで、周知をはかっています。
	㉚ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期面談を実施し、相談に対応しています。必要に応じて各自治体の相談機関などの情報提供を行っています。
	㉛ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりする等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			今後保護者会を企画していきたいと考えています。
	㉜ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			担当職員または児童発達支援管理責任者を中心に、事業所内で共有し支援を行っています。
	㉝ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			個別トレーニングやイベントの情報を教室に掲示しています。
	㉞ 個人情報に十分注意しているか	○			社内にて個人情報法に関する研修を行いマニュアルを作成しています。それに基づく、情報管理を徹底しています。
	㉟ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			定期的に保護者面談およびお迎えにいらした際に保護者との情報共有を密に行い、意思疎通をスムーズに行えるようにしています。

	⑯	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		新座野火止用水燈明まつりなど地域のお祭りに参加しています。
	⑰	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			避難経路の掲示・感染症予防のポスター掲示等を行っています。今後、マニュアル作成を行い周知してまいります。
	⑱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			放課後等デイサービス利用児童に対し年に2回の避難訓練を実施しています。
非常時等の対応	⑲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止のチェックリストを年に1度実施しています。その他、会社・事業所内での勉強会を実施しています。
	⑳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			やむを得なず身体拘束の可能性がある子どもには、あらかじめ保護者に説明を行い個別支援計画に記載しています。
	㉑	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			利用契約時に確認を行い、アレルギーを把握しています。保護者を通して必要に応じて確認を行い、食物を扱う活動では必ずアレルギーについて確認してから実施しています。
	㉒	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例が起った場合には当日中に職員間で共有を行うようにしています。